



2020年（令和2年）5月21日 // 木曜日 // 創刊第1号

プレジール通信

“プレジールのいま”を（不）定期的にお伝えします。



発掘現場の一例。現場は世界各地に広がっていると言う。



工業用ミシンが今日もリズムカルにミシン音を奏でている。

この際だから、 一点モノ！

4月7日に緊急事態宣言が発令されて一カ月半ほど経ちますが、新型コロナウイルスの影響がかなり深刻となっています。弊社取引先の多くが休業を余儀なくされました。

そんな中、プレジールでは『オーダーメイドバッグの制作』に力を入れています。「ステイホーム」が叫ばれ、断捨離をする人が増えているからでしょうか、着なくなった着物や仕舞ったままの着物の発掘作業が全国各地で順調に進んでおり、ハンドバッグの表素材として適した素材があちこちで発見されている模様です。

発掘した着物を捨ててしまうのは簡単ですが、ちょっと忍びない。気に入っているあのバッグのデザインをトレースし、この着物を蘇らせる事が出来るのでは…？

そんな時は、今すぐにもバッグ制作の専門家であるプレジールまで気軽に問合せを入れてみてください。

もちろん、素材の発掘作業が進んでいるのは個人のみならず、法人の方々、各社事務所内、各社倉庫内等々。今なら、通常より自由時間を多めに確保出来ている職人に、すぐさま制作の相談する事も可能です。1本からのバッグ制作に対応出来るプレジールへの問合せは、電話でも、メールでもお好みの方法で！

電話やパソコンの前で担当者（梅澤）がベルや着信音が鳴るのをひたすら待っています。

それほど変わらぬ日常？！

神奈川県横浜市。市内のある埠頭に接岸している大型客船の映像がニュース映像で毎日のように流れるようになったのは1月末の事でした。香港で下船した乗客が新型コロナウイルスに罹っている事が分かり、その後、客船内で同様の症状を訴える乗客が日に日に増え、当時、船内はまさに戦場と化していました。

コロナ？電気ストーブの事かい？ああ、一世を風靡した乗用車の事か。筆者（梅澤）は当時、そんな冗談も口にしていました。人生には3つの坂があると言いますが、その一つ、「まさか」がほんの数か月後には世界各地で想起される事など思いも至らなかったです。

客船内のみならず、日本各地に、いや世界各地に新型コロナウイルス罹患者が爆発的に増え、欧米では外出が禁止される事態となったのは、改めて言うまでもありません。日本でも全国に緊急事態宣言が発令され、不要不急の外出自粛が要請されました。

しかしその間も、実はプレジールでは大きく状況が変わる事はありませんでした。

プレジールは、既に5年ほど前から「ステイホーム」で毎日の仕事を進め、「エンジョイホーム」を実践していました。

これまでと変わった点と言えば、取引先各社が休業処置を取ったため、各社からの連絡がパタリと途絶えた事くらいです。

打合せや出張などに出掛ける事が激減したため、足が運動不足になるかと思われましたが、むしろミシンを踏む時間が多くなり、足を動かす機会が増えました。これは、これまで妄想するだけで終わっていた新しいスタイルの合切袋作りに勤しむ時間が爆発的に増えたことによるものです。

詳細は個別にお話させて頂ければ、と思いますが、アフターコロナに向け、新しいスタイルの合切袋が新商品のラインナップに加わりました。その新商品を発信する準備も整いつつあります。Zoom等を使ったオンライン会議による「ソーシャルディスタンス」な打合せも対応が可能です。

様々なご相談は遠慮なくどうぞお気軽に。